

国への情報提供に向けた検討状況について

1 想定海域検討の経過

- 第2回部会（R4.9.13）において、想定海域（案）設定の手順を確認。
- 海域の現状を把握するとともに、先行利用者である漁業者等との調整を実施。
- 第3回部会（R5.1.24）において、山形県漁業協同組合から提示された想定海域（案）について意見をいただいたうえで、国への情報提供に向けて調整を進めていくことを確認。

2 第3回部会以降の調整・確認


- 部会での議論を踏まえ、国へ情報提供することを念頭に、想定海域に関する基本的な情報を整理。


- ①風況が良好である（NEDO NeoWins（洋上風況マップ）より）。
 - ・概ね年平均風速が 7.5m/秒以上 ※7m/秒以上が適地
- ②海底地盤の状況が次のとおりである（NEDO 実証事業報告より）。
 - ・水深 45m 未満が約 97%、最も深い箇所の水深は約 49m
 - ・岩盤が露出している箇所は確認されていない
 - ・堆積土性状は、細粒分層と砂質土層の互層
- ③最大の利害関係者である山形県漁業協同組合から提示のあった海域であり、検討を行うことについて理解が得られている。
- ④酒田市から、再エネ海域利用法に基づく一般海域（酒田市沖）の促進区域の早期指定に向けた取組み促進の要望が出されている。

3 国への情報提供等について

- 想定海域を「資料 3 - 2」のとおりとし、研究・検討会議に報告のうえ、その意見も踏まえ国へ情報提供する。なお、本部会における議論の状況も伝えていく。

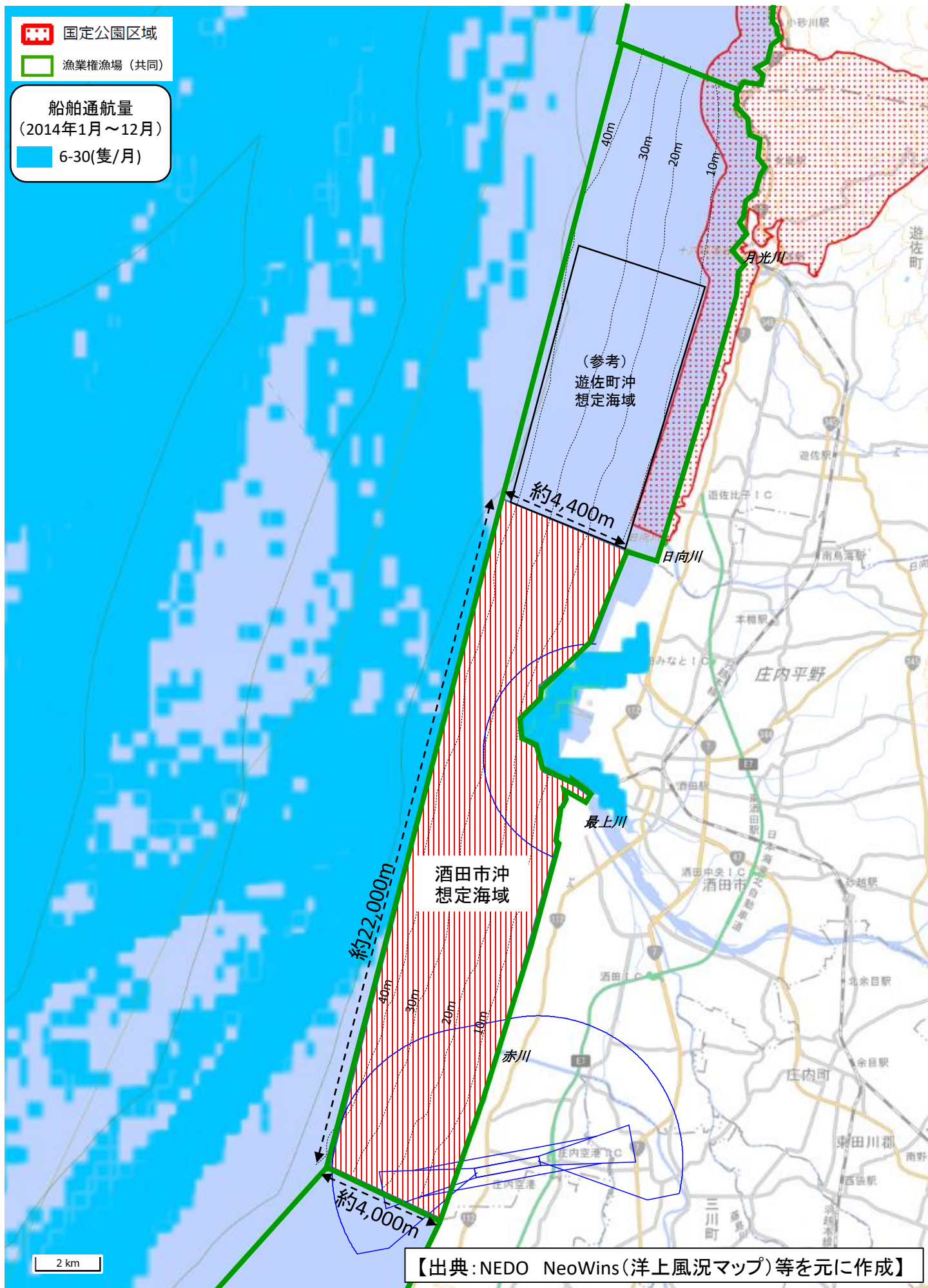
酒田市沖の想定海域について

 国定公園区域

 漁業権漁場 (共同)

船舶通航量
(2014年1月~12月)

 6-30(隻/月)



【出典: NEDO NeoWins(洋上風況マップ)等を元に作成】